

(第3種郵便物認可)

脱原発を訴える市民らによるデモ行進＝八王子市で



「脱原発 声上げ続ける」

八王子「金ハデモ」200回

王子駅周辺であった。約百人の市民が太鼓のリズムに合わせて「地震の国に原発いらぬ」などと訴えた。

デモ前には同市明神町四の船森公園で集会。福島県浪江町で被ばくした三百頭以上の牛の世話が続けている「希望の牧場・ふくしま」代表の吉沢正巳さん(左)が「原発事故はたくさんの人を巻き添えにした。原発に頼らない社会をつくっていこう」と呼び掛けた。その後、「原発事故は終わっていない」「命を守るろう」などと訴えながら、京王、JRの八王子駅周辺など約一・八キロを練り歩いた。

東日本大震災から六年となるのを前に、脱原発を訴える「3・11を忘れないデモin八王子」が十日、八

東日本大震災

6年

毎週金曜日に八王子市街地で「金ハデモ」をしている実行委員会が主催。毎週金曜日にも首相官邸前で行わ

れている抗議行動に合わせて二〇一二年九月に始まり、今回で二百回を迎えた。官邸前まで行けない人たちが思いを訴える場になつており、実行委の西田照子共同代表(左)は「脱原発を成し遂げて次の世代を守るために、これからも声を上げ続けたい」と話した。

(萩原誠)